

令和3年度 第3回学校運営協議会

令和4年3月9日（水）（協議）

本校会議室において、第3回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員5名（加堂恵二委員が欠席）、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。令和3年度最後の運営協議会では、今年度を振り返るとともに来年度の本校の方向性や、計画について議論しました。

内 容

1. 運営協議会 15:25～16:55

① 准校長挨拶

② 協議事項

- ・令和3年度学校経営計画及び学校評価・令和4年度学校系家計画及び学校評価について
- ・分掌等（各系列）の今年度総括・地域との協働による高校教育改革（グローバル型）事業特例校の取組みについて
- ・授業評価アンケート結果について
- ・来年度に向けての取組みと提言
- ・その他

委員からの意見等

【協 議】

- ・「挑戦」は今後を考えるうえで大切である。
- ・生徒がICT端末を使用することはよい。将来的にも必要である。
- ・「能勢」を活かした学びはとてもよい。能勢の農業を救おうという取組みにつながればよい。
- ・相互に意見を交換する授業が進んできたことは好ましい。
- ・高校生はどんどん地域に出て行ってほしい。高校生の目に地域が、地域から高校の取組みが見えるようになるのはお互いにとってよいことである。
- ・課題探究発表会はとても感動した。生徒からたくさんのことを教わった。
- ・生徒間では多少のトラブルはあるが大きなはじめとしての問題は起きていないようだ。
- ・メタルヘルスが重要視されてきている。能勢分校は少人数教育で十分対応できている。
- ・探究で新しい力がついてきている。大学入試も知識を問うスタイルから総合選抜型に変わってきている。求められる能力の変化を理解し、住民、生徒たちも時代に沿って意識を変えていかなければならない。
- ・「能勢の取組みはすごい。田舎はいい！」という声を聞いた。分校独特のスタイルをもっと活かすことで、生徒増につながるとよい。
- ・学校運営協議会に参加したことで能勢分校の考えがよくわかった。高校卒業後の進路の方向性をしっかり考えさせ、高校生に身につけてほしい力を示すなど、価値のある教育が展

開されている。小中の保護者にこの価値を理解してもらいたい。この良さを伝える必要がある。

- ・世の中の情勢がどんどん変わる中、自分で考え、自ら行動することができておりとても良い。
- ・様々な取組みで学年の枠を超えて進めているのが素晴らしい。
- ・行政、住民との連携が進み能勢分校と能勢町全体が一体となり、能勢の町の活性化に向かい始めている。地域とのつながりも広がってきており、今後も能勢分校の取組みを加速させていってほしい。